

平成21年 4月 9日

文化・スポーツ振興課  
(内線 4375)

## 奈良市文化振興計画 「伝統と創造が響き合うまち奈良～古都奈良ルネサンス」について

### 1. 目 的

奈良市では平成19年4月に文化によるまちづくりをめざして「奈良市文化振興条例」を施行しました。この条例では、その基本理念を実現するために、「奈良市文化振興計画」を策定することが定められており、同年7月に奈良市文化振興計画推進委員会を設置しました。以来8回の会議を開催すると共に、パブリックコメントを実施し、計画案の検討を重ね、去る2月19日に委員会から提言をいただきました。奈良市では、この提言に基づき奈良市文化振興計画「伝統と創造が響き合うまち奈良～古都奈良ルネサンス」をまとめました。

### 2. 計画の概要

この計画は奈良市の様々な施策を「文化」の切り口で整理し、これからの市の施策の方向性を示したものです。「奈良市文化振興条例」第7条に定められた18の「基本方針」項目について、具体的な施策と結び付けていくために、それぞれの項目について「基本方針」「現状と課題」「施策の概要」の観点でまとめています。そして、それらの施策をどのような形で実施しようとしているかが市民の皆さんによりわかりやすいように、「事業の具体例」を挙げて説明しています。

### 3. 計画のポイント

- この計画の基本的な考え方は、文化政策を「市民参画と協働」で推し進め、「文化による新しい公共づくり」を目指すことであるとしています。
- 「奈良市市民文化振興基金」の周知を図り、基金を活用した支援制度を市民参画によって進めることとしています。  
例：文化活動の支援、若手芸術家の育成支援
- 奈良市文化振興条例第8条に基づき設置された奈良市文化振興計画推進委員会において、計画の進捗状況を評価する方法を構築するとともに、併せて進行管理を行います。

- 1300年にわたり守り伝えられてきた文化財、伝統行事、芸能などをこの計画に受け継ぐとともに、未来に向けて発信していきます。

例：平城遷都1300年祭、世界歴史都市会議、小学生の世界遺産学習、歴史的風土、伝統的建築物などの保存整備、新奈良ブランドの開発

#### 4. 奈良市文化振興計画推進委員会

奈良市文化振興計画推進委員会には、「市民参画と協働」をより一層推し進めるために、文化活動を行っておられる幅広い分野・年代の委員と市民公募の委員計13名の皆さんに参画していただき、計画案を検討しました。さらに事務局として市役所の15課が参画しました。

#### 奈良市文化振興計画推進委員会名簿（敬称略、五十音順）

	分野	氏名
委員	音楽	五十嵐 由紀子
委員	公募	池田 恵次
委員	学生	神戸 美音
委員	伝統芸能	金春 康之
副会長	生涯学習	阪本 美枝子
委員	美術	白石 道夫
委員	公募	高天 信明
委員	文化財	川瀬 嘉裕（平成19年度） 千鳥 祐兼（平成20年度）
会長	地方自治	中川 幾郎
委員	都市計画	細田 茂
委員	古典文学	堀井 幸子
委員	経済	松森 重博
委員	市民参画	山下 喜明

### 〈事務局〉

企画政策課	環境保全課	財政課	市民参画課	生涯学習課
人権啓発課	福祉総務課	観光企画課	国際交流課	商工労政課
都市計画課	景観課	文化財課	学校教育課	

文化振興課（総括担当）

## 5. パブリックコメントについて

平成20年12月1日から26日まで委員会が作成した計画案についてパブリックコメントを実施し、3件の意見をいただきました。

### [意見の概要]

この文化振興計画の周知を図ること。地域に眠る美術作品を掘り起こし公開する取組が有意義であり、積極的に取り組むべき。

基本方針の18項目の内、「(4) 伝統文化の保存、普及及び継承に関すること。」及び「(8) 子どもたちの情操を高める文化環境の整備に関すること。」に盛り込まれています。

子どもたちが地域の伝統芸能に触れる機会を増やし、地域を愛する心を育てることの大切さについて。

これについては基本方針の18項目の内、「(2) 芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関すること。」に盛り込まれています。

文化事業のPRの大切さについて。

これについては、基本方針の18項目の内、「(1) 市民の文化に対する意識の高揚に関すること。」及び「(15) 文化活動における情報通信技術の活用の促進に関すること。」に盛り込まれています。